

## 【企業概要】

事業所名 柿壺  
業 種 柿生産・販売業  
従業員数 2人  
事業概要 兵庫県加古川市よりターンして就農。平成26年に個人創業。  
日本有数の西条柿の産地である出雲市平田地域において、栽培面積3.3haで約50トンの生産・販売を行っている。干し柿等の加工品や柿渋等の副産物の販売にも取り組んでいる。

## 【事業計画・テーマ】

干し柿商品開発を軸とした収益構造の改善と普及活動の推進

生果の出荷は10～12月であり、売上・所得の季節変動が大きい。高品質な干し柿開発と通年出荷による収益構造の改善と若年層への普及に取り組む。

## 【支援に至った経緯、背景】

平成26年の個人創業以降、任園地の利用権移譲を積極的に行うことで、栽培規模は年々増加しており、当初の1.5haから2倍強となった。インターネットによる直売や営業活動等により販路も拡大傾向にあるが、通年で販売できる干し柿開発と、食べたことのない50歳代未満の消費者への普及促進を図りたいと来所。

## 【支援内容、活用した施策】

事業継続力強化アドバイザー派遣事業  
小規模事業者持続化補助金

## 【連携した支援機関等】

## 【支援の効果・成果】

インターネットによる直売環境が整ったところで、北海道から鹿児島県まで16都道府県に新規顧客を獲得できたほか、市場卸出荷と比較して利益率を4倍まで引き上げることができた。「柿壺の柿」というブランディングに取り組むとともに、高品質で糖度の高い干し柿を通年出荷できるようになり、展示商談会等を通じ、干し柿を食べたことのない50歳代未満の消費者への普及、販売促進を図ることができた。

## 【事業者の声】

今後は域内業者との6次化による商品開発について商工会議所の支援をお願いしたい。

